

児童発達支援に係る自己評価結果公表用

公表日:令和7年2月17日

事業所名: 児童発達支援センター

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた 改善内容・改善目標
			はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	
環境・ 体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	○				97%	3%			・安全に楽しく活動ができています。 ・ぶつかっても大丈夫な壁がいい。 ・スペースが確保されていて、のびのび活動できている。	お子さんの発達の様子や人数によってクラスを分けさせていただき、安全に活動できるスペースを確保しています。
	2	職員の適切な配置	○			子どもが安全に過ごせるよう利用人数により職員配置を調整しています。	100%				・子どもたちのサポートもでき、自分で考える時間もできるので最適だと思います。 ・子どもの人数に合わせて、職員の方がいてくださるので、とても安心しています。 ・視覚的に分かりやすい環境になっている。	職員の配置は利用児童数に応じて調整しております。安全に活動ができるように更に気をつけていきたいと思っています。 言語聴覚士や作業療法士などそれぞれの強みを、療育内容に生かしていけるように話し合いをしながら療育をしています。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	○				94%	6%			・どこがどんなことをする場か良くわかっています。	施設内はバリアフリーになっており、利用される方に分かりやすい環境を整えております。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○			療育中は室内の換気を行い、療育後にはその都度、保育室の消毒、掃除を行っています。	100%				・清潔で安全に過ごせています。	午前・午後それぞれの療育利用後には、玩具や保育室の清掃及び消毒を実施、清潔に保てるようにしております。今後もさらに気を付けていきたいと思っています。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	○			療育の前後にミーティングを行い、情報共有しながらチームで療育を進めていけるようにしていますが、話し合いの内容の改善は必要です。改善に努めていきます。						
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	○			審議会等で運営状況等について審議を行いながら運営しています。						
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○			外部講師を招いての職員研修や外部機関の研修等に積極的に参加しています。						

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた 改善内容・改善目標
			はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	
関係機関との連携 (続き)	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	○									
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	○			未就園の子どもを対象に地域の保育園との交流を行うこと園の生活を知ったり、同じ年齢の子の発達を知ったり、集団生活の体験を保護者としています。	69%	9%	6%	16%		就園しているお子さんが多いです。未就園のお子さんについては地域の保育園にて交流保育に参加されている方もいます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	○									
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	○				97%	3%				契約の時に、伝えさせていただいていますが、より丁寧に分かりやすくお伝えできるようにします。
	2	児童発達支援計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	○			作成後、保護者に説明し保護者も同じ思いで参加してもらえよう、具体的な場面を捉えて課題から関わりで大事に促したいポイントを伝え、納得してもらった上で療育を実施しています。	97%	3%				作成後、保護者に説明をさせて頂き、療育を実施させていただいております。必要に応じて、支援の確認をさせて頂いています。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施		○		保護者が子どもの得意・不得意を知って必要な支援を行っていきけるよう遊びを通して一緒に関わりを考えていけるようにしています。	38%	31%	6%	25%	・子どもとの接し方に悩む時もあるので保護者が職員の方と話せる機会がもう少しあればいいと思う。 ・研修会などはあるのでしょうか？あれば参加してみたい。	ペアレント・トレーニングは行っていますが、親子での療育となりますので、遊びを通して、お子さんの様子や関わり方を保護者と一緒に考えたりできるように努めています。研修会のご案内させていただきます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	○				94%	3%		3%	・なんでも聞いてくれるし、話しやすいので小さなことでも共有しています。 ・子どもの表情や状態などよく見てくださっている。	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	○			療育の終わりの短い時間にお伝えできる範囲に伝えています。保護者が満足できているかは分からないが、その都度、個別に対応できるようにしています。	88%	6%	3%	3%	・定期的に聞き取りなどしてくれて理解、共有してくれます。	定期的に面談をさせて頂いております。また、ご希望に合わせて日程調整を行います。

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた 改善内容・改善目標
			はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	
保護者への説明責任・連携支援（続き）	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援		○		保護者会はないので、保護者研修会を開催しています。	10%	28%	6%	56%	・療育を受けるにあたって、きょうだい（小さい子）がいると大変なのは分かりますが、預け先がない時など、どうしても一緒に連れて来なくてはならない時、連れてきてでも大丈夫なように、別の部屋なども受けてもらえると助かります。 ・保護者同士の会話はあまりなくても、みなさん温かい雰囲気です。ありがとうございます。 ・職員の方々、そして他の保護者の方々にも感謝しています。みなさんの温かい雰囲気も、家族への支援につながっています。ありがとうございます。 ・他の保護者の方と話す機会がありませんので交流できる機会があるとうれしい。	未就園児のお子さん対象で、ご利用のお子さんの弟妹の託児をしています。ある程度の制約はありますが、ボランティアで対応しています。ただ、利用できる部屋も1室であり、前もっての予約が必要です。なおボランティアなので、対応できないこともあります。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	○			契約時に対応の体制を説明しています。苦情・意見があった時はその都度保護者と話し合いの場を設け納得いくまで話し合いができるようにしています。	71%	13%		16%	・施設長の対応力に不満感有り ・相談等にはすぐ丁寧に対応してもらえるが相談できるタイミングが取りづらい	契約時に苦情やご要望についての対応の体制を説明させていただいております。お知らせにて苦情の有無を周知しております。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	○			子どもや保護者の状況に合わせて、できるだけ様子について情報を共有できるようにしています。	100%					お子さんや保護者の状況にあわせて、できるだけお子さんの様子について情報を共有できるよう努めています。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	○			パレットレターやフェイスブックなどで行事を周知しています。また、毎月配布している「お知らせ」を通じて1か月の予定をお伝えしています。	50%	22%	3%	25%	・全くない。聞いていない。あったとしても知らない。	パレットレターやフェイスブックで行事等を報告しております。翌月の行事予定等につきましては、「お知らせ」にて周知させていただいております。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	○			取り扱いには十分、気を付けています。	100%					四国中央市個人情報の保護に関する法律施行条例を遵守し、個人情報の取り扱いには細心の注意を払っています。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	○			危機管理マニュアルに沿って職員研修や避難訓練を行っています。保護者へは周知の仕方を工夫してまいります。	60%	9%	3%	28%	・全くない。聞いていない。あったとしても知らない。	マニュアル等について、契約時に説明するように努めます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	○				51%	9%	6%	34%	・全くない。聞いていない。あったとしても知らない。	毎月職員で避難経路や係について確認したり、消防署の指導による、パレット全体での避難訓練も年に1回実施しております。曜日を決めて避難訓練を実施しています。定期的に避難経路の説明を実施するようにします。

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた 改善内容・改善目標
			はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	
非常時等の 対応（ 続き）	3	服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況の確認の実施	○				94%	3%		3%	・なんでも聞いてくれるし、話しやすいので小さなことでも共有しています。 ・子どもの表情や状態などよく見てくださっている。	
	4	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	○			・アレルギーがある児に対しては、療育後のお菓子等配慮しています。						
	5	安全管理の徹底	○			パレット全体の点検等の実施に加えて、療育の中で使用する物や環境に対してのマニュアルやチェックリストを作成し、安全に活動ができるようにしています。	72%	6%	3%	19%		療育の前と終了後、保育室や玩具等の点検を行っています。
	6	家族等との連携を図るため、安全計画に基づく取組内容についての家族等へ周知	○				71%	13%		16%	・活動中に頭を打ったことがあったが、すぐに対応していただき帰宅後も連絡していただいた。	事故発生時には、状況に応じて迅速に対応するようにしています。
	7	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	○									
	8	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	○									
	9	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画への記載	○			現在、こういったケースはありませんが、虐待防止・身体拘束適正化委員会を設置し、年2回委員会を開催、全体で協議するように努めています。						